資料３

「岐阜市多文化共生推進基本計画－たぶんかマスタープラン2025～2029－」骨子（案）

基本理念

〈基本的な考え方〉

本市では人口減少や少子高齢化が進むなか、外国人労働者、留学生など生活者としての外国人はますます増加すると予測されます。

こうしたなか、外国人市民が安心して暮らすことができる支援体制を充実するとともに、日本人市民と外国人市民が互いの文化や価値観を認め合い、ともに多様性に富んだ活気のある地域社会の構築を目指します。

取り組みを進めるにあたっては、地域コミュニティや関係機関等と連携しつつ、地域の特性に沿った多文化共生推進施策を展開します。

〈基本理念〉

誰もが互いを認め合い、ともに活躍できる、多文化共生社会を目指して

重点目標

＜つたえる＞

外国人市民が必要な情報を得られるまちづくり

＜つなげる＞

外国人市民の生活を支える安心のネットワークがあるまちづくり

＜つくる＞

多様性を生かした活気に満ちたまちづくり

計画の方向性

1　わかりやすい情報発信と学びの環境の充実

やさしい日本語や多言語での効果的な情報発信に努め、外国人市民が生活に必要な情報を得られる環境整備を推進します。

また、日本語の習得や生活ルールを学ぶ機会の充実を図り、日本人市民と外国人市民の良好なコミュニケーションを促進します。

2　外国人市民が安心して暮らすことができる生活環境の整備

関係機関がネットワークを形成し、子どもの教育、医療・保健・福祉、就労等、生活に関わる様々な場面や、自然災害などの非常時において、きめ細かな支援を行い、外国人市民が安心して暮らせる環境整備を推進します。

3　日本人市民と外国人市民がともに担い手となる地域社会の構築

日本人市民と外国人市民が、交流、学び、活動する場を充実するとともに、多文化共生を推進する人材や組織の育成を図ります。

また、地域において、誰もが互いを認め合い、ともに担い手となる地域社会を構築します。

施策の体系

［主な施策］

- １－１　多言語化の推進
- １－２　やさしい日本語の普及・啓発
- １－３　外国人市民に対する効果的な情報発信
- １－４　日本語学習環境の充実
- １－５　日本社会に関する学習支援

［主な施策］

- ２－１　生活相談窓口の充実
- ２－２　子どもの教育の充実
- ２－３　医療・保健・福祉等に対する支援
- ２－４　日常生活に対する支援
- ２－５　就労に対する支援
- ２－６　留学生への支援
- ２―７　災害等非常時における安心の確保

［主な施策］

- ３－１　交流・学び・活動する場の充実
- ３－２　多文化共生を推進する人材・組織の育成
- ３－３　地域に根差した多文化共生の推進と外国人市民の社会参画の促進
- ３－４　多文化共生の理解促進
- ３－５　外国人市民の意見の反映

多文化共生社会の実現